



園長便りひがし

令和8年9月8日
宮崎ひがし幼稚園
文責園長 花宮 伸利

カレー作り がんばりました

園児全員によるカレー作りが行われました。ホールでの食育につながるお話や栄養のお話は園児の活動意欲を高め、食に対する興味・関心を非常に高めるもので素晴らしいと感じました。

つぼみ組さんは、アルミホイルを利用してジャガイモの皮むきに挑戦、年少さんは玉ねぎの皮むきに挑戦、年中さんは、ピーラーを利用してニンジンの皮むき、年長さんはジャガイモ・ニンジン・玉ねぎ切りにそれぞれ挑戦しました。そして、お肉とカレー粉を加えておいしいおいしいカレーが出来上がりました。どの子もニコニコ顔で食べていました。やっぱり自分たちで作ったものが世界一のごちそうのようですね。



子どもは親の後姿を見ている

子どもは親の言うことより親のすることを見て学習します。子どもは、優れた「観察学習」の能力があります。そのため、一度見たことは記憶し、忘れることはありません。また、親の行動は、全て観察され、真似されます。ですから、親の言うことを聞かないと嘆くことはありません。親の言うことではなく、親のすることから、しっかりと学習しているからです。たとえば、「部屋の掃除をきちんとしなさい!」と何度叱っても、子どもが部屋の掃除をきちんとしないとします。そのような場合は、実は、親の部屋もちらかっており、親も掃除をきちんとしていないことが多いのです。子どもは、親の言うことよりも、親のすることから、しっかりと学習しているのです。ですから、何度叱っても聞いてくれない場合は、親自身の行動を見直すといいということです。

先ほどの、部屋をきちんと掃除しないということでしたら、まずは、親が部屋をきちんと掃除する習慣を付けることです。そうすると、子どもは優れた観察学習能力をもっているため、親のすることをしっかりと記憶し、きちんと掃除し始めます。このように、子どもに言って聞かせるのではなく、子どもに親の行動を見せて覚えさせる方が、効果的ということなのです。親も教師も口ばかりでなく、後ろ姿で子どもたちを育てていかなければならないということですね。

「自分の後姿は自分じゃ見えねんだなあ」 相田みつお

